

太陽工業株式会社

3次元精密加工の実現で 新分野へ参入 自社製品の開発も

機械の老朽化などが原因で、年々高度化するニーズに応えきれずにいた同社。3次元レーザー加工機を導入したことで、高付加価値の製品を生産できるシステムが実現しました。



2012 - 2016
Made in MIYAZ

新技術の確立と生産性の向上が 自社製品開発の足がかりに

延 岡鉄工団地で、ステンレス素材の切断加工品の製造を主事業とする太陽工業株式会社。近年、高度化する顧客からの要望への対応に苦慮していました。

「ずっと平面の加工を行ってきたのですが、3次元加工に対応するニーズが大幅に高まってきたんです。既存の加工機は3次元に対応していなかったため、外注に頼らざるを得ず、その結果、コストがかさみ、利益が出ない構造になってし

3 まっていたんです」
そんな状況を一変させたのが、今回、導入した3次元レーザー加工機です。

「この加工機は、パイプや形鋼など立体の素材をそのまま複雑な形状にカットできる上、そのスピードが既存の加工機の倍なんです。おかげで高付加価値の製品を短期間で製造できるようになりました」

行ったのが、IOTを活用した工程管理システムの構築です。このシステムによって、それまではリアルタイムで把握できなかった機械の稼働状況などが、パソコンやスマートフォンで瞬時にわかるようになり、生産性が高まりました。

今後は新たな機械によって得た技術力によって、航空機や医療分野など精密な加工が求められる新分野にも参入していくという同社。その視線は世界をも見据えています。



ものづくり補助金活用 **ココ** がポイント!

プレ加工まで行うことで 顧客の負担を軽減

3次元レーザー加工機の導入で、断面を斜めに仕上げる開先加工など、これまで納品先が行っていたプレ加工までできるように。顧客の工程を減らす付加価値の高い製品を製造することができるようになりました。

〈代表取締役社長〉
梶井 崇之
かじい たかゆき

Q. 今後の展望は?

A. これまでは注文を受けて製品を作っていました。新しい加工機を使って独自の製品開発を手掛けていきたいですね。

Q. 若者へメッセージを

A. 宮崎には独自の技術を持ってチャレンジしている企業がたくさんあります。ぜひ、そのような企業に興味を持ってもらい、全国へ世界へ羽ばたく製品と一緒に作っていきましょう。

影になる部分



3次元レーザー加工機にセットされたパイプ素材。これまでは不可能だった立体物の加工ができるようになりました。



事務所にあるパソコンやスマートフォンで随時加工機器をモニターできます。

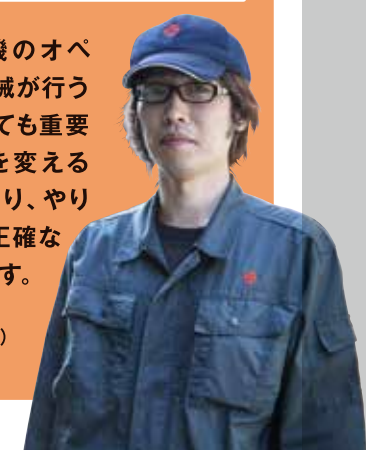
CAD/CAMソフトで入力された通りに3D加工が行われます。



若い千カラ

今回導入した3次元レーザー加工機のオペレーターをしています。カット自体は機械が行うのですが、その手前のセッティングがとても重要です。素材や厚みによって速度などを変えるのですが、そこが難しいところでもあり、やりがいがあるところですね。これからも正確な製品でお客様の要望に応えていきます。

西 資 (32)
にし たから



23
太陽工業株式会社

〒882-0024
宮崎県延岡市大武町39番地160
TEL 0982-32-6354